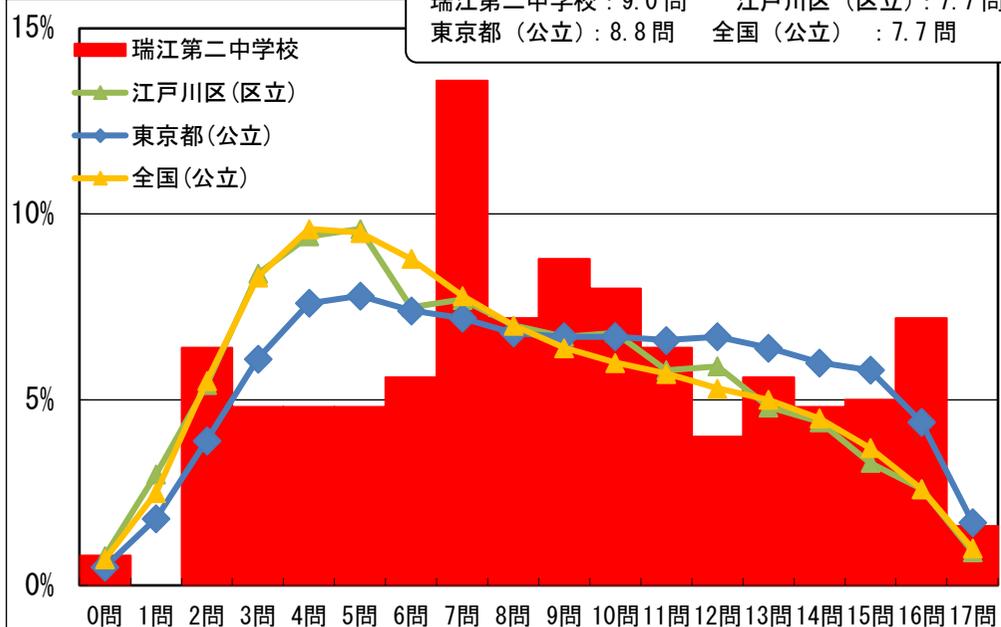
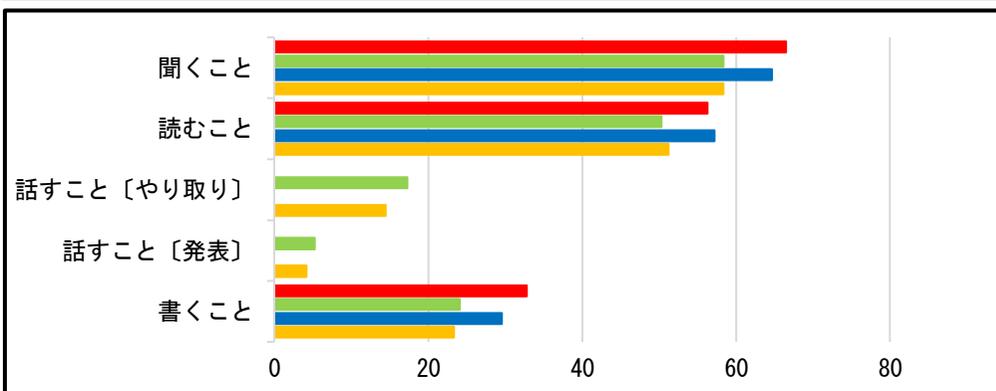
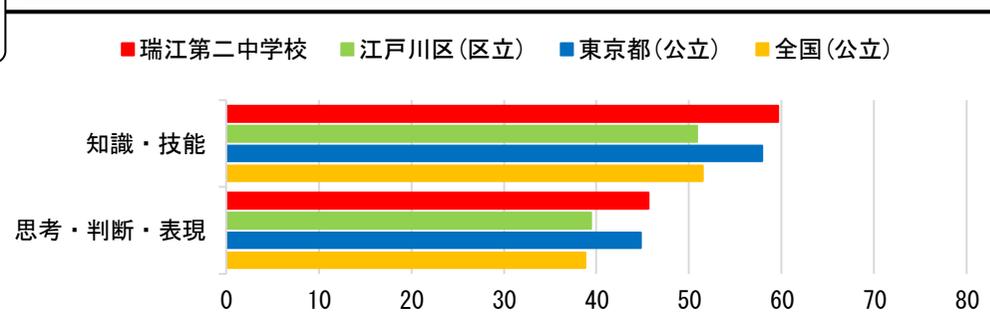


令和5年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【英語】 瑞江第二中学校

正答数分布



「領域別」の結果



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

英語	上位 ← → 下位			
	A層 12~17問	B層 9~11問	C層 5~8問	D層 0~4問
瑞江第二中学校	28.8	23.2	31.2	16.8
江戸川区(区立)	21.9	19.3	31.8	27.0
東京都(公立)	31.0	20.0	29.2	19.8
全国(公立)	22.1	18.1	33.1	26.7

【平均正答率の差】

瑞江第二中学校	53%
江戸川区(区立)	45%
東京都(公立)	52%
全国(公立)	45.6%
都との差	+1ポイント

%

【分析結果と授業改善に向けて】

- ・都の平均と比べ、「知識・技能」「思考・判断・表現」の観点において、本校は上回っている。
- ・都の平均と比べ、「読むこと」に関して下回っている。文章読解を苦手とする生徒が多い傾向にある。

<授業改善>
 教科書本文の内容把握と精読をバランスよく行い、
 単元テスト等で初見の英文に取り組む。

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。